



食用馬鈴薯生産組合 東京・名古屋方面へ視察研修

1月16日～18日、食用馬鈴薯生産組合（組合長：三木繁勝さん）は、東京、名古屋方面へ道外視察研修を行い、生産者24名が参加しました。

初日は、東京青果(株)において、ようてい産を含む各地の馬鈴しょの品質状況調査とホクレン東京支店にて関東の市場13社及びホクレンと販売協議会を行いました。協議会では関東における馬鈴しょの状況や野菜全般の価格情勢など説明を受け、今後のようてい産青果物の取引維持・拡大に向け活発

な協議を行いました。

2日目は、昨年10月から新たに開場した豊洲市場にて、卸売市場では初の全館閉鎖型の施設ということで、最新の設備を備えた場内の視察を実施しました。

3日目は、名古屋にてカネハツ食品(株)を訪問し、北海道産男爵にこだわりを持ったポテトサラダ等の総菜について意見を交わし、3日間の研修は31年産に繋がる有意義なものとなりました。



馬鈴しょ品質確認（東京青果(株)）



販売協議会（ホクレン東京支店）



豊洲市場見学者デッキからの景色



カネハツ食品(株)